様式第７号

**保育演習等への協力体制**

現時点で想定している方針をお答えください。

※方針欄の該当する項目に「〇」を入力してください。

①要望どおり実施できる

②概ね（８割程度）実施できる

③実施できない

④代替案を提案する

１　学生との日常的な関わりについて

|  |  |
| --- | --- |
|  | ※方針 |
| ① | ② | ③ | ④ |
|  ア　開園時間中、学生の自由な出入り（園児観察、園児との関わり）を受け入れることができる。 |  |  |  |  |
| イ　学生の昼休み(午後0時10分～1時)に学生と園児が自由に関わる（遊ぶ）時間（わくわくタイム）を確保できる。 |  |  |  |  |

④を選んだ項目の代替案を次に記述してください。（別紙添付可）

|  |
| --- |
|  |

２　学生の受け入れ、指導について

1. 演習について

|  |  |
| --- | --- |
|  | ※方針 |
| ① | ② | ③ | ④ |
| ア　常時、保育の計画を学生が閲覧することが可能である。 |  |  |  |  |
| イ　園児の様子や状況、演習内容について、学生の相談に応じることができる。 |  |  |  |  |
| ウ　保育施設職員の勤務時間内（直接保育の時間を除く）の学生対応（情報提供、相談等）が可能である。 |  |  |  |  |
| エ　学生が作成した演習指導案の指導、助言ができる。（１～２回／週） |  |  |  |  |
| オ　直接保育の時間外に、演習結果について学生へ指導、助言ができる。（１～２回／週） |  |  |  |  |
| カ　演習終了後に提出される演習日誌について、添削指導、助言ができる。（１～２回／週） |  |  |  |  |
| キ　突発的な演習の受け入れ（15分程度の読み聞かせ等）が可能である。（１～２回／週） |  |  |  |  |

④を選んだ項目の代替案を次に記述してください。（別紙添付可）

|  |
| --- |
|  |

1. 園行事について

|  |  |
| --- | --- |
|  | ※方針 |
| ① | ② | ③ | ④ |
| ア　行事１か月以上前に、行事の計画を学生に提示することが可能である。 |  |  |  |  |
| イ　事前準備（製作等）に学生が参加することが可能である。 |  |  |  |  |
| ウ　行事に向けた保育内容（導入、練習等）に学生が参加することが可能である。 |  |  |  |  |
| エ　行事当日、学生に役割を割り当てることが可能である。 |  |  |  |  |
| オ　行事終了後、学生に指導、助言ができる。 |  |  |  |  |

④を選んだ項目の代替案を次に記述してください。（別紙添付可）

|  |
| --- |
|  |

３　学校行事、授業への参加について

1. 学校行事

|  |  |
| --- | --- |
|  | ※方針 |
| ① | ② | ③ | ④ |
| ア　園児が、保育活動（歌、リズム、合奏等）を、学校行事で学生と共に発表できる。 |  |  |  |  |
| イ　学生が提案した遊びを保育に取り入れることができる。 |  |  |  |  |
| ウ　学校行事への外部参加（高校生等）に、園児が学生と一緒に参加することができる。（オープンキャンパス） |  |  |  |  |
| エ　学生が披露する歌、演奏、ミュージカル等の鑑賞を保育に取り入れることができる。 |  |  |  |  |

④を選んだ項目の代替案を次に記述してください。（別紙添付可）

|  |
| --- |
|  |

1. 授業

|  |  |
| --- | --- |
|  | ※方針 |
| ① | ② | ③ | ④ |
| ア　授業担当講師責任のもと、学生が指導する運動あそび等に園児が参加できる。 |  |  |  |  |
| イ　運動あそび等の活動時間を授業時間に合わせることができる。 |  |  |  |  |

④を選んだ項目の代替案を次に記述してください。（別紙添付可）

|  |
| --- |
|  |

４　その他学校職員との関わり等について

|  |  |
| --- | --- |
|  | ※方針 |
| ① | ② | ③ | ④ |
| ア　学生に係る対応や学校及び学校職員との連絡調整について、担当者（兼務可）を配置することができる。 |  |  |  |  |
| イ　学校職員と定期的な打ち合わせが可能である。（１～２回／週、１回１時間程度） |  |  |  |  |
| ウ　保育施設の全職員が、学校職員と良好な関係を築く姿勢があり、学生や園児の情報交換を密にし、より良い保育や保育人材育成に向け協働することができる |  |  |  |  |
| エ　学校の使命を理解し、組織として保育人材の育成に積極的に協働することができる。 |  |  |  |  |

④を選んだ項目の代替案を次に記述してください。（別紙添付可）

|  |
| --- |
|  |